



# るうてる



2019年  
**8**月  
No.860

■発行所■  
日本福音ルーテル教会事務局広報室  
〒162-0842 東京都新宿区市谷砂土原町 1-1  
電話 03-3260-8631

■ウェブサイト■ <http://www.jelc.or.jp>

■E-mail■ [jelc@jelc.or.jp](mailto:jelc@jelc.or.jp)

■発行人■ 李明生 koho@jelc.or.jp

■印刷人■ 精文堂印刷株式会社

■定価■ 1部 40円 (郵税を含む)

■振替口座■ 00190-7-1734

## 説教 「神さまの平和」

日本福音ルーテルみのり教会 牧師 野口 勝彦

愛には偽りがあつてはなりません。悪を憎み善から離れず、兄弟愛をもって互いに愛し、尊敬をもち互いに相手を優れた者と思ひなさい。怠りなく、奮然と、主に仕えなさい。希望をもつて喜び、苦難を耐え忍び、たゆまず祈りなさい。聖なる者たちの貧しさを自分のものとして彼らを助け、旅人をもてなすよう努めなさい。あなたがたを迫害する者のために祝福を祈りなさい。祝福を祈るのてあつて、呪つてはなりません。喜ぶ人と共に喜び、泣く人と共に泣きなさい。互いに思いをつにし、高ぶらず、自分の低い人々と交わりなさい。自分を賢い者とうぬぼれてはなりません。だれに対しても悪に悪を返さず、すべての人の前で善を行うように心がけなさい。できれば、せめてあなたがたは、すべての人の「ローマの信徒への手紙12:9-18」



するにあたり、支援先の方々  
にその後の生活についてお  
尋ねしました。そのお心え  
からは、今から約8年5ヶ  
月前のあの出来事とは正反  
対のまことに、やすらかな、や  
わらぎのある、おだやかな  
生活、つまり、平和な日々を  
過されてることを私は、  
実感したのです。

私は、この約8年5ヶ月  
の間、「喜ぶ人と共に喜び、  
泣く人と共に泣きなさい」  
のみ言葉により、被災地の  
方々と共にありました。そ  
して、これこそが神さまの平  
和の在り方なのです。

最後に昨年、雄勝「華の  
会」の方からいただいたお手  
紙(一部抜粋)を紹介し、こ  
の説教を閉じたいと思います。

「あの東日本大震災から  
7年がたちますが、長い年  
月、野口さまにはいづばいご  
支援をいただき誠にありが  
とうございました。感謝で  
いづばいです。私達お陰様で  
仲間と楽しくつくれること  
の幸せを感じました。失った  
物も大きかったが皆様方か  
ら暖かい心で見守ってくだ  
さり、どんなにか勇気づけ  
られたことでしょうか。いつま  
でも忘れることはないです。  
これからも頑張つて生活し  
ていきます。なお、来石の際  
はお声をかけて下さい。華  
の会、同感謝しています。ま  
ずはお礼まで」



コラム 直線通り 久保彩奈

⑦ところで、タマスに「アナア」とい  
う兄弟がいた。幻の中で、アナア  
と呼びかけると、「アナアは、主よ、こ  
こにおります」と言つた。すると、主は  
いわれた。立つて、「直線通り」と呼ば  
れる通りへ行き、ユダの家にいるサウ  
ロという名の、タルソス出身の者を訪  
ねよ。今彼は祈つている。アナアと  
いふ人が入つて来て自分の止む手を置  
き、元と目が見えるようにしてく  
れるのを、幻で見たのだ。(使9:10)

アメリカ留学を考へる生  
徒から相談があるといわれ  
何事かと思ひました。留学し  
たこともなく、アメリカに行  
たこともないわたしを選んで  
相談したいとは、人選ミスも  
甚だしいと思ひながら話を  
聞くと「アメリカで使う英語  
名を先生につけて欲しいんで  
す」と。しかも聖書の中から  
選んで欲しい、とのこと。「わた  
しに似ている聖書の人物つて  
いますか」と聞かれました。

嬉しい相談でした。生徒は  
クリスチャンではありません  
が、学校でキリスト教に出会  
えたことに神様の導きを感じ  
ていました。礼拝も聖書の授  
業も好きなどとは知っていま

したが、聖書に自分を重ね合  
わせながら読み、自分自身を  
見つけたがつていたことに心  
が震えました。またこの生徒  
の姿勢は、大切なことを思い  
出させてくれました。

わたしには洗礼名があり  
ます。それは使徒言行録9章  
の「アナア」で、直線通りに  
あるユダの家にいたパウロに  
恐れつつも逢いに行き、祝福  
し、目を見えるようにした人  
物です。わたしはパウロのよ  
うに大きなことはできない  
でも、パウロのような神様の選  
んだ器を導く人になりたかつ  
たのです。

候補をいくつか上げ、生徒  
は少しの時間考へてから「パ  
ウロがいいな」「パウロの女性  
形」と言いました。

キリストの声に「直  
線通り」を行き、ユダの家に  
入つたアナアの気持ちを追  
体験する思いがしました。世  
界に羽ばたく生徒を後押しで  
きる喜びを、このような形で  
神様が与えてくれるとは、神  
様の与えてくださる喜びは、パ  
ラダイに富み、これほど豊か  
なものかと実感し、わたしの  
目からも涙が落ちました。



2013年3月1日仮設河北三反走団地つるしびな完成感謝交流会

日本福音ルーテル教会で  
は、8月の第1日曜日を平  
和の主日としています。私は  
牧師となつて今年で15回目  
の平和の主日を迎えますが、  
毎年この主日を迎える時  
平和とは何かについて考へ  
させられます。特に2011  
年、つまり東日本大震災が  
発生してからは、毎年被災  
地の平和について考へてい  
ます。

天に召され、未だに2532  
名の方が行方不明です。②  
019年6月10日警察庁調  
べそして、震災後に震災関  
連により天に召され方は3  
723名に上ります。③201  
9年3月31日復興庁調べま  
た、仮設住宅等に避難され  
ている方は50665名、内  
36674名の方が県外避  
難を余儀なくされています。  
(2019年6月11日復興庁  
調べ)

今から、約8年5ヶ月前  
東日本大震災の被災地で  
は、この平和が一瞬にして奪  
われ、多くの人の命や人生  
も奪われてしまったのです。  
そして、遭われた人たちの  
人生をも大きく変えてし  
まったのです。

私はこの震災発生後  
ルーテル教会救援派遣牧師  
としてルーテル支援セン  
ターとなりびとで2年間  
支援活動を担当しました。  
そしてその活動が終了して  
からは、個人的な支援交  
流を含めて、毎年のように  
女性会連盟東教区女性会  
の方々と共に「となりびと」  
の支援先を訪問しました。  
昨年は、夏休みを利用して  
はじめて個人的に訪問もし  
ました。(詳しくはルーテル教  
会救援「となりびと」ブログ  
lutheran-tonaribito:blo  
gspot.com をご覧ください  
い。2019年7月1日現在  
在アクセス数364162)

昨年6月、女性会連盟総  
大会で報告の機会が与えら  
れた時、その報告のために  
現地の支援先にお電話を  
担当

今から約8年5ヶ月前に  
発生したこの震災によつて  
15897名の方が二度に  
驚くと共に、  
その数字一つ  
一つに隠され  
たひとり一人  
の人生が私  
の平和への  
思いをより  
強くさせま  
す。

平和それ  
は、やすらか  
にやわらぐ  
こと。おだや  
かで変わり  
のないことで  
す。

今から約8年5ヶ月前に  
発生したこの震災によつて  
15897名の方が二度に  
驚くと共に、  
その数字一つ  
一つに隠され  
たひとり一人  
の人生が私  
の平和への  
思いをより  
強くさせま  
す。

今から、約8年5ヶ月前  
東日本大震災の被災地で  
は、この平和が一瞬にして奪  
われ、多くの人の命や人生  
も奪われてしまったのです。  
そして、遭われた人たちの  
人生をも大きく変えてし  
まったのです。

私はこの震災発生後  
ルーテル教会救援派遣牧師  
としてルーテル支援セン  
ターとなりびとで2年間  
支援活動を担当しました。  
そしてその活動が終了して  
からは、個人的な支援交  
流を含めて、毎年のように  
女性会連盟東教区女性会  
の方々と共に「となりびと」  
の支援先を訪問しました。  
昨年は、夏休みを利用して  
はじめて個人的に訪問もし  
ました。(詳しくはルーテル教  
会救援「となりびと」ブログ  
lutheran-tonaribito:blo  
gspot.com をご覧ください  
い。2019年7月1日現在  
在アクセス数364162)

昨年6月、女性会連盟総  
大会で報告の機会が与えら  
れた時、その報告のために  
現地の支援先にお電話を  
担当

今から約8年5ヶ月前に  
発生したこの震災によつて  
15897名の方が二度に  
驚くと共に、  
その数字一つ  
一つに隠され  
たひとり一人  
の人生が私  
の平和への  
思いをより  
強くさせま  
す。

**るうてる法人会連合  
第13回総会開催のご案内**

■2019年8月22日(木) 13時~  
23日(金) 13時

■ルーテル学院大学(東京都三鷹市)

■主題 「ルーテルを語ろう」

■基調講演講師 宮本新牧師  
(日本ルーテル神学校)

正会員登録費 2,000円  
正会員以外の参加費 1,000円  
参加申込締切 7月26日(金)  
問い合わせ・申し込み先  
るうてる法人会連合事務局  
(日本福音ルーテル 教会事務局)

※詳細はJELCニュースブログ  
[jelc-news.blogspot.com](http://jelc-news.blogspot.com) をご覧ください。





議長室から 大柴譲治

### 「安らかに眠ってください 過ちは繰返させぬから」

とりままた、松木傑（1979～1986）、大柴譲治（1986～1995）、鈴木英夫（1995～2000）、加納寛之（2017～現在）という4人並んだ姿の中に、歴史を貫く神の複数共同牧会の御業が可視的に示されていたと思われ。

「罪の告白」であり、平和と和解の実現のために私たちはその責任を担ってゆきますという「信仰の告白」なのです。古財成牧師からだったでしょうが、広島平和セミナーの中で「昭和天皇の軍隊」の名の下に行われた太平洋戦争の

「安らかに眠ってください 過ちは繰返させぬから」

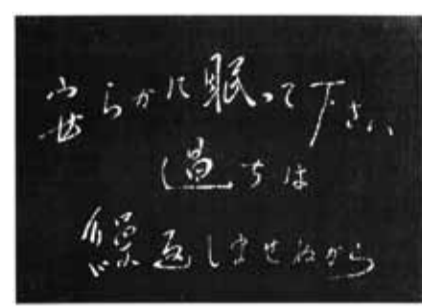
6月18日に西地域教師会で福山教会を訪ねました。私の初任地でしたので懐かしく瞬時に様々なことを思い出しました。福山教会にとっては今回4人の歴代牧師が一堂に会するという歴史的な瞬間

福山教会の聖真庫に一枚の碑文のコピーが飾られていました。「安らかに眠ってください 過ちは繰返させぬから」写真上広島市平和記念公園の記念碑の言葉です。それは当時「西教区・平和と核兵器廃絶を求める委員会（P

は直接的にはヒロシマ・ナガサキで原爆の犠牲となった人々のことですが、同時にそれは先の戦争で無念のうちに生命を奪われたすべての人を指していると思えます。戦争という「過ち」を私たちは決して繰り返さないという犠牲者数が「日本では240万人、アジア諸国ではその10倍」と呼び喚びを受けたことを思い起します。「敗戦記念日」である8月15日はアジアでは「解放記念日」であり、韓国では「光復節（クァンボクチヨル）」と呼ばれています。今JELCはアジア宣教を視野

に入れていますが、私たちはアジアの脈絡の中でこれまでの歴史を深く心に刻みつつ、和解と平和の実現のためにキリスト者として託されている使命を担ってゆきたいと願っています。壁を作ることではなく「橋を架けてゆく」ことが求められています。これまでアジアとのネットワークのためにコツコツと努力してこられた方々の貴い働きを覚えます。

神は人々の「無念の声」に耳を澄ませ、「我が民の叫びを聞き」と告げてくださるお方です（出エジプト37）。何といつことをしたのか。あなたの弟の血が土の中から私に向かつて叫んでいる（創世記4:10、聖書協会共同訳）。神は平



和のために私たちをどのよう

### サウスカロライナ・シノッド総会ELCA本部を訪ねて

八木久美

（世界宣教委員むさしの教会）

5月28日から6月5日にかけて牧師8名と信徒1名行がアメリカ福音ルーテル教会（ELCA）のサウスカロライナ・シノッド（SC）総会出席と

育が可能となる環境に感銘を受けました。陽気にリユートを奏でるルター像の前で写真を撮ったその足で向かったタボル山教会では、八王子教会の創成期から長く御用をされたジェリー・リビングストン

進行の随所に祈りと賛美が組み込まれており各教会代議

運動体アースの充実が印象的

人口減少への教会としての取

目的に渡米しました。到着翌日に訪れた神学校は自然豊かなキャンパスの中、24時間開放型図書館やトレーニングマシン・エリア、談話・自習室間がゆつたりと確保されて神学生

第32回総会—SC教会共同

量消費社会の子どもの対

職・職員とのトークショウに

感謝いたします。

シカゴ空港にて。任務終了、晴れやかな笑顔で



ボウグナイト夫妻から訪問団へ頂いた記念の十字架



### 賛美歌と私たち



②「サンビカ」とは？

小澤周平

私たちは普段、式文以外の「礼拝で用いる歌を」サンビカと呼びます。でも、これはキリスト教会の常識ではありませぬ。なぜなら、「聖歌」や「ワシツプソング」など他にも呼び方があるからです。ちなみに、ルーテル教会にゆかりのある諸外国を見てみると、例えばアメリカのルーテル教会（『ELW』では「ヒム」）とあり、これは賛美歌とも聖歌とも訳せる語「ドイツや北欧諸国においては、礼拝用の歌集の呼び方は「歌の本（詩の本）」です。

合教会系の共通歌集を含むと推定されます。小さな群であった当時のルーテル教会は、プロテスタント教会の超教派の取り組みとしての「サンビカ」の流れに沿って礼拝を整えていきました。

このような歴史を尊重し、日本基督教団讚美歌委員会の見解や研究者（原恵や水野隆二）の意見を参考に、本連載では「礼拝で用いる歌」の一般名を「賛美歌」と表記します。特定の歌集名を指す場合はそれらの名前で記します（例『讚美歌』や『教会讚美歌』）。

現在の日本で、賛美歌は広く市民権を得たことでしょうか。クリスマスソングや結婚式場でのこまを思い出すと、賛美歌が日本文化に溶け込んでいるとわかります。実に奥が深い話。それでは、日本のルーテル教会独自の歌集の歴史は？調べてみると興味深い資料が。それは、佐賀から遠く離れた諏訪での話（続く）

### ○ 第二百一十章

一 イエスこれぞいと  
わかれつぎれば  
わかれそれじな  
ア、イ、イエスあいす  
ア、イ、イエスあいす  
ア、イ、イエスあいす  
ア、イ、イエスあいす

聖書にぞとめす  
わかれそれじな  
ア、イ、イエスあいす  
ア、イ、イエスあいす  
ア、イ、イエスあいす  
ア、イ、イエスあいす

左図：最初の「主われを愛す」の一節、神戸女学院大学他編集『複製讚美歌并樂譜』1991年より新教出版社の許可を得て部分引用



### ブラジル伝道の区切りと将来 (3)



徳弘浩隆

「10年にわたるブラジル・サンパウロ教会での宣教師派遣から日本へ戻られた徳弘浩隆牧師よりブラジル伝道についての報告をご寄稿いただきました。今回はその第3回・最終回です。」

#### 4 将来

ブラジル人牧師にバトンタッチしましたが、他教派の日系教会もそうですが、言葉の壁、文化の壁、感受性の違いは殊に教会の中では大きく響きます。より良く折り合い、日本の伝統も守りながら日系教会が発展するよう祈っています。

翻つて日本に目を向けると、ここにも日系ブラジル人がたくさんおられますし、再度増加中です。4月からは「外国からの労働人材」受入れも大幅に増え、変化の時代に入ったようです。異国で言葉や労働条件で苦労をし、家族内でも言語の壁がで、不就労や不就学の子どもの苦勞もあります。外国人支援は行政では手が回らず大変と聞きますが、世界中にネットワークがある教会なら、すぐにでもできるはず。彼らの出身国からルーテルの牧師を招いて共に働けばよいのです。

私は帰国赴任後、岐阜市と大垣市でブラジル人のお店やレストラン、学校を訪ね始めました。在日ブラジル人のための就職情報新聞を作っている会社の方も帰国した私に会いに大垣教会を訪ねてくれ、外国人材の方々への日本語学習の支援、子どもたちの支援が、彼らの幸せな生活のために必須だと意気投合しました。

外国人材抜きでは日本社会は機能しない時代だそうですね。ならば教会の中にも率先して外国人を招き、共生していくのが理想ではないでしょうか。教会も信仰も豊かにされるはず。ブラジルのルーテル教会の中に正式に日系教会があるように、日本のルーテル教会の中にブラジル人コミュニティができたらどんなに良いでしょう。英語礼拝や英語コミュニティは既にあるのです。日本で日系人牧師が生まれ、交換牧師として働くことも夢でないかもしれません。

そんな夢をもつて、従来の教会の働きに取り組みながら、ブラジルの日系教会の支援も続け、国内で外国人と出会い支援や伝道もしていきたいと願っています。IELCのブラジル伝道の歴史とあ

ゆみが、今の社会のニーズに合わせて、そんな形で広がるのも神様のご計画なのかもしれません。



現リバルダージ教会のゲストルーム元入居者たちの同窓会



ジヤデマ集会所建築10周年感謝礼拝をする両牧師と教区長



2019年3月徳弘牧師の離任式をする IELC 現議長と歴代の教区長

### 第10回日韓NCC協議会報告

小勝奈保子 (聖パウロ教会牧師)

第10回日韓NCC協議会が5月28～31日、在日韓国YMCA(水道橋)で開催されました。1日目は開会礼拝と総幹事報告、2日目は基調講演として「北東アジアの平和構築と日韓教会の役割・韓半島の非核化と市民国家」と題し、イキホ氏(韓国神学大学、平和教養大学)、続いて「近代日本のナショナルリズムと日韓関係構築への課題と展望・エキユメニカル運動の視点から」と題し、山本俊正氏(関西学院大学)が発題されました。午後はパネルディスカッション形式で「平和構築と教会の役割」と「移民・難民問題」をテーマに話し合われました。3日目は4つの分科会「原発・非核化問題」、「日韓関係と教会」、「教会の問題・課題」「ジェンダー」に分かれてグループディスカッションを行いました。午後は全体討議と声明文作成に関する討議が行われました。4日目は声明文の採択と閉会礼拝で終了となりました。

社会の中で様々な差別に出会いながらも、自己のアイデンティティを確立し、韓国と日本との橋渡しとして平和構築のために対話の努力を重ねてきたことです。北東アジアの平和に関しては、日本の戦争責任の曖昧さが信頼を損なう要因になっています。また、加害者責任を学ぶ機会を得なかつたために、他者の人権を侵害していることに気づかない、それは現代の社会問題、DV、虐待、いじめにも通じます。更に、外国人の就労問題を考えますと、人権が重んじられず不当な搾取が行われています。人権に基づいた法整備と社会政策を展開する必要がありますが、必ずしも国家にとつては都合のよい制度の構築ではありません。ひとたび内政に混乱が生じれば、外国人、そして、私たちの人権は守られるのでしょうか。韓国の人々が徴用工に関して声を上げていますが(日本社会の中には今さら過去を蒸し返してもという声も聞かれますが)、日本の国策の行方を日本人以上に韓国人々が敏感に感じ取っているからなのでしょう。内側からは見えない外側から指摘されることによつて、「ああ、やっぱり



日韓NCC協議会参加者らによる、朝鮮戦争休戦協定から平和協定へキャンペーン2020

そんなのか」と、改めて自国の課題を認識する機会となりました。

### 池田礼拝堂仕舞にあたって

高井 康 (帯広教会)



し、これも神の時なのだと思えてきます。仕舞いに向けての作業は祈りの内に進められており、6月30日が最後の合同礼拝となりました。地域の新聞にも取り上げられ、多くの方がご参集下さいました。礼拝後の交わりでは、和やかな雰囲気の中で旧交を温め合う姿が随所に見られ、幸いな一時となりました。

十勝ワインの町として広く知られている池田町は十勝平野中央よりやや東に位置しています。かつては十勝第2の町として活気に満ちあふれていましたが、例に漏れず少子高齢化の波にのまれ、現在は人口7千人の町となっています。

戦後まもなく家庭集會から発展した池田教会は63年にわたり、時代の流れと共に歩んで来ましたが、折々に様々なプログラムが実行され、子どもをはじめ多くの方々が恵みに与り、特にバザーには管内各地から大勢の方が足を運んで下さっていました。小高い場所に建つ教会は、四季折々美しく変わりゆく自然に調和し、夜には十字架のイルミネーションが人々の心を二

今後は8月25日の礼拝を最後に礼拝堂の解体、スチンドグラスの帯広礼拝堂への移築が予定されています。この池田教会のシンボルを見守るにつけ、歴代牧師・宣教師そして信仰の先輩達の祈りと尊い労が思い起こされ、今の時を生きる私たちの責任を痛感させられます。

時の安らぎへといざなつてくれていたように思います。このように地域に根ざし、多くを語っていた教会が今閉じられると思うと寂しさを禁じ得ません。しかし、これまでも同様に道東の新たな歩みのために祈り頂ければ幸いです。栄光在王。

時代として状況の変化により、集會の有り様も変化せざるを得なくなりました。二人または三人がわたしの名によつて集まる場所には、わたしもその中に入っている。『マタイ18:20』のみ言葉にあるように、建物を手放しても今後も実施可能などところで集會を続けてゆきたいと願っています。設立当初の志を継承し、帯広を拠点とした今後の宣教の展開を覚え、これまで同様に



### 第28期第4回 本教会常議員会報告

滝田浩之  
日本福音ルーテル教会事務局長

6月10〜12日、市ヶ谷センターを会場に行われた標記の件について、主なトピックをご報告いたします。

#### 1 ハラスメントの学び

フェミニストカウンセリグ東京の与語淑子先生を講師に、「二次被害を防ぐために、相談窓口の心得」として常議員会としては4回目の学びを実施しました。ワークショップ形式で事例をもとに、相談者、行為者、相談窓口、それぞれの気持ちの動き

などを5つのグループに分かれて体験する機会となりました。先入観を持たないことはできないけれど自分の先入観の傾向を知っておくべきこと、相談を受けた者が拙速にハラスメントと認定しないで客観的に相談者からの聞き取りを行うことの大切さを学ぶことができました。

#### 2 市ヶ谷会館将来検討委員会

設計事務所のリダーシップのもと、耐震工事実施を円滑に進めるために施工業者の選定作業が行われました。3社のプレゼンテーションを受けて、浅沼組のフォーム専門チームが選定されたことが報告されました。今後、浅沼組と技術支援

の監修のもと、規程を事務局にて提案することが承認されました。規則が承認される前に起こるケースについては、これまで通り各教区常議員会が対応しますが、これまで学んだ他教派の事例等も参考にしながら本教会常議員会として対応していくことも確認されました。

#### 3 ACT: JAPAN フォーラムへの参加について

ルーテル世界連盟(LWF)と世界教会協議会(WCC)によって組織された国際援助連合体であるACT: JAPANが、2018年総会が地域毎のナショナル・フォーラムに権限を移譲する方針を決定したことを受けて、JAPANフォーラムが日本キリスト教協議会(NCC)を中心立ちあげられることとなりました。このACT: JAPANフォーラムに日本福音ルーテル教

会も参加することが承認されました。災害発生時の緊急対応と共に、毎年のように起こる災害に対して日頃から各教派の連絡を密に行い備えることを目的としています。これまで各地の災害で協力してきた経験を通して、日常の地域の超教派の牧師会や共同のクリスマス会などで顔を合わせた関係がある時、いざという時にそこの信頼が支援活動のベースとして働くことが分かっています。これらのすてにあるネットワークに働きかけを行うところから活動が開始される予定です。

#### 4 「天皇」代替わり「関連行事」に関する見解

社会委員会の作成してく

ださった標記の「見解」を本教会常議員会として承認しました。またそれに伴い、11月に行われる大嘗祭にむけて日本福音ルーテル教会として声明をだすことが承認されました。社会委員会に案の作成を依頼しました。

#### 5 オープンセミナーについて

神学教育委員会とルーテル神学校の共催で、10月13〜14日、ルーテル学院大学を会場に「オープンセミナー」を開催することが承認されました。今後、少なくとも5年継続して開催することになります。神学生を身近に感じて頂いて、神学生あるいは教会関係施設の働き人の育成を目的としています。

6 戒規執行に伴う責任者減給の件  
日本福音ルーテル教会の現役教師が戒規に付されたことを受けて、組織としての再発防止への決意、また戒規を受けた者との連帯のため総会議長、副議長、事務局長、当該教区長の給与の減額(3か月)を決めました。

以上、ご報告いたします。詳細は常議員会議事録にてご確認ください。

ハラスメントの学びの一コマ



### 「協賛感謝。未来につながるカンナチリ。」

宗教改革500年を契機に「お互いがお互いを想う心で平和をつなぐ」ため、被爆地ヒロシマにいち早く咲いた平和のしるしである赤いカンナチリを育て、分かち合う歩みに連なりました。

2017年11月23日に長崎のカトリック浦上教会で行われた共同記念の折に、和解のシンボルとして参加者に配布されたカンナチリの球根は全国津々浦々に植えられました。大きく育つ



ものもあればそうではないものもあり、各地から届けられる生育の様子をホームページでも紹介してきました。

2度の開化の時期(おおよそ2年を過ぎる)今年11月中旬には、球根を掘り出していただき、株分けして半分はほお送りいただきました。残り

の半分は、改めて植えていただいいてかまいません。お送りいただいた球根は、さらに他の場所で平和のしるしとして咲かせるために植えられます。送付先や送付手順については、改めて案内をいたします。(広報室)

### ルーテル学院創立110周年記念 一日神学校のご案内



石居基夫  
(日本ルーテル神学校校長)

#### 【ディアコニアのこころと実践】

110周年を迎えた、今年の一神学校のテーマは「ディアコニアのこころと実践」。大学と神学校は、三鷹に移転してからの50年、社会福祉や臨床心理の分野に

【教会の宣教の広がり】

ルーテル教会は、日本宣教の当初からキリストを伝える宣教を、教会による伝道活動のみでなく、広く日本社会の中に教育と福祉の働きを展開しながら、推進して来りました。

特に、1920年代には、

熊本には慈愛園、東京でも東京老人ホームや母子生活支援施設のベタニヤホームが始められます。社会の中で具体的な困難を抱える方々と共に生きる社会を実現する社会福祉を、キリストの福音宣教の業として取り組んできたのです。

その「ディアコニア」を日本の中に展開したい。そんな願いが、三鷹移転後のルーテル学院に新しい展開を起こしました。

【地域社会に生きる人々のために】

ルーテル学院は、この教会の大きな宣教の働きに込めるよう、地域社会において様々な困難、苦しみを抱えて生きる人々に向けて、具体的な援助を作り出し、働く人材を養成して来りました。それが、すべての人にキリストの福音をもたらす宣教に仕えることと考えたからです。

9月23日に行われる今年の一神学校では、このルー



テルの「ディアコニア」とは何かを学び、また、実践教育に力を入れて来た本学の福祉・心理教育の原点を皆さんと共に考えたいと思っています。どうぞ、一日神学校においでください。